

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シュバル			
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数)	41
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日		～	令和8年1月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動の一環として「ホースセラピー」を実施しています。馬を介した活動を通して、運動面や感覚機能、心理面や学習面等への様々な効果が期待出来ます。	・児童指導員や保育士に加え、言語聴覚士や作業療法士等のセラピストと連携を図り、専門的な視点からのアドバイス等を受けながら支援することで、より質の高い療育につなげています。	・引き続き、事業所の強みである「馬」を介した活動を取り入れると共に、セラピストとの連携を図ることで相乗効果を生み、お子さまたちが楽しみながら成長につながる支援に努めています。
2	・お子さまの実態やご家族のニーズを踏まえたうえで個別支援計画を作成し、チーム全体で統一した支援が実践できるよう努めています。	・日々のチームミーティングや指導案作成の際に、さまざまな活動を提案し、お子さまそれぞれの支援計画に沿った支援ができるよう、職員間でアイデアを出し合いながら工夫しています。	・引き続き、お子さまの細かなアセスメントに加え、お子さま、ご家族のニーズに沿った支援が出来るようご家族や関係機関等と、より一層連携を深めていきたいと思ます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・チームとして療育活動や支援を実施していますが、職員個々においては、専門性や支援力における「差」があり、課題と感じています。お子さまたちに安定した療育をご提供するために、職員の質の向上が必要だと考えています。	・療育現場での経験の少なさや、専門的知識や技術を学ぶ機会の確保が必要だと感じています。	・左記の通り、療育現場での実践を重ねるとともに、セラピストからの助言やアドバイスを受ける機会を設け、専門的な知識や技術を学ぶ機会をつくっていきたくと考えています。
2	・地域の子ども達との交流においては、直接的な交流の機会が設定できていないため、検討が必要だと感じました。	・具体的な交流の機会のアイデアが足りていないと感じています。	・他事業所や地域の取り組みなどに目を向け、具体的に地域の子どもたちとの交流についての検討を進めていきたいと思います。その際は、ご利用している皆様の意見も踏まえたうえで進めていきたいと思います。
3			